

# 改訂第2版の序

本書の書名には「消つして忘れない」という言葉が入っている。けつして忘れないためにはどうしたらよいかについて、本書では暗記だけに頼らず、理解することによって知識を確かなものとするという方針を立てている。解剖学では多くの用語が出てきて、それを暗記するために多くの労力を必要とする。しかし、苦労して暗記しても、単なる暗記では時の経過とともに確実に忘れていってしまう。これでは国家試験のための学習に効率的かどうか疑わしい。さらに解剖学を学ぶ目標のひとつである“他の医療関連科目の理解を助ける”，あるいは“臨床の現場で有用な知識となる”ということに対しても暗記だけの知識はほとんど役立たない。一方、理解して記憶に留めることは面倒かもしれないが、ひとたび理解すると忘れるることは格段に少なくなり、いろいろな場面での応用が可能となる。理解するには図やイラストを見ることに加えて、文章を読んで自分の頭の中に知識を組み立てることが重要である。したがって、本書は要点整理ノートではあるが、説明文をできる限り充実したものとしている。

今回の改訂では、イラストの中に重要な語句を書き込む方式を採用し、新しいイラストの追加も行った。加えて重要語句の再検討を行い、赤字と太字の割合の適正化も行った。これによりそれぞれの解剖学用語の重要さの程度が認識され、知識の組み立ての指針となることを期待している。また、別冊演習問題のアップデートも行ったので、自分の理解度の確認や国家試験の対策に活用していただきたい。

本書に含まれる“イラストへの書き込み”“赤字を赤シートで消して覚える”“問題集で知識を確かめる”という方法は、単に目で見て覚えることに比べ、多くの手順を要する。このように手を動かしたり、いろいろな方法を用いることによって自然と自分で考え、理解して知識を頭の中に構築していくことができると思われる。理学療法士・作業療法士を目指す学生にとって本書が解剖学の理解の手助けになることを願っている。

2014年3月

編者を代表して  
井上 馨